

4年	組	番
5年	組	番
6年	組	番
名前		

「私たちのまち にしなり — 西成歴史・地図帳」
2015年度版

編者・発行 大阪市立大学 地域連携センター

発行日 2015年3月20日

※本冊子は西成区より委託され、2014年度西成情報アーカイブネット企画運営事業の一環として作成しました。



私たちの
まち
にしなり  2015
年度版

西成歴史・地図帳



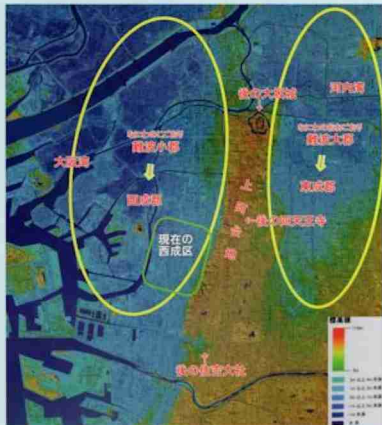
目次

1	西成のあゆみ	1
2	「にしなり」ってどこから?	2
3	江戸時代の西成	3
4	明治時代の西成	5
5	西成区の誕生	7
6	西成の鉄道	10
7	空襲と震災	12
8	上町台地沿いのうつりかわり	16
9	新今宮あたりのうつりかわり	21
10	人びとのくらし	22
11	川の跡と今	23
12	神社とお祭り	24
13	はたらく	25
14	ものづくり	26
	きみはどれだけ西成区を知っているかな?	28
	未来へのメッセージ	29

1

西成のあゆみ

	日本のできごと	西成のできごと
江戸時代	1603 徳川家康が江戸幕府を開く	<p>平安時代には今宮浜に漁村があったとされています。</p> <p>このころ、瀬戸村や淀川河津沿いに今宮や天下茶屋の集落がありましたが、多くは空襲で、戦後復興もみられました。</p> <p>▶2～4ページ</p>
	1615 大坂の陣で豊臣氏が滅びる	
	1635 参勤交代が確立される	
	1636 蘭館設置がとられる	
	1637 飢饉・天明一揆が起こる	
	1685 生駒城の争いが終わる	
	1716 徳川吉宗が将軍となる	
	1787 北平文政が老中となる	
	1825 外国船が初めて訪れる	
	1833 文政の文化論が記される	
明治時代	1837 大船手八郎が船中記を書く	<p>▶5～6ページ</p>
	1853 ペリーが浦賀に参府する	
	1854 日本郵船最初の船が走る	
	1854 日本郵船通商航路が開かれる	
	1867 大政奉還が行われ、江戸幕府が滅びる	
	1869 横濱参府が行われる	
	1871 新選組が行われる	
	1872 横井今吾が訪れる	
	1885 内閣制度決定	
	1889 大日本帝国憲法が制定される	
大正時代	1890 第1回帝国議決が開かれる	<p>1885 高麗鉄道が開通する。天下茶屋駅が開業する</p> <p>1889 本津村、津守村、今宮村、瀬戸村などが誕生する</p> <p>1897 今宮村、本津村のそれぞれが町制だけが大阪市になる</p> <p>1900 高野鉄道が開通する</p> <p>1905 ロシア人移民が訪れる</p> <p>1911 阪神電気鉄道が開通する</p> <p>▶7～10ページ</p>
	1914 日本が第一次世界大戦に参戦する	
	1919 本船船中記を書く	
	1920 淀川運河が成立する	
	1923 関東大震災が起きる	
	1925 東高野鉄道が開通する	
	1927 阪神電車が開通する <p>1934 淀川台原で小学校などが破壊される</p> <p>1938 動物園が閉館する</p> <p>1940 淀川2号線が開通する</p> <p>1942 花園駅が開業する</p> <p>1943 現在の西成区域となる</p> <p>1945 大関大空襲で焼野となる</p> <p>1950 ジェーン台風で津守などが浸水する</p> <p>1954 淀川が現在地に転移する</p> <p>▶9～15ページ</p>	
	1919 日本が第一次世界大戦に参戦する	
	1919 本船船中記を書く	
	1920 淀川運河が成立する	
1923 関東大震災が起きる		
1925 東高野鉄道が開通する		
昭和時代	1931 満洲事変が起こる	<p>▶9～15ページ</p>
	1937 日中戦争が始まる	
	1939 第二次世界大戦が始まる	
	1941 太平洋戦争が始まる	
	1945 戦争が終了される。終戦する	
	1946 日本国憲法が定められる	
	1952 ザンファンシ工議和条約が結ばれる	



▲2万5千分の1地形図

メモ

一万年前的、上野台地の東と西は海でした。

その後、東側を東生（ひがしなり）、西側を西生（にしなり）と

呼ぶようになりました。

緑色の部分が今の西成区あたりです。

天保国絵図
(1830年代後半)

「にしなり」ってとても古くて、昔は大層のほとんどだったんだよ。緑の小判型がひとつひとつの村なんだよ。



このあたりが今の西成区だったんだね



◆ 農村のしくみ ◆

〈村のしくみ〉



解説 百姓は、土地を耕す本百姓と土地を貸さない水のみ百姓とに分かれ、村の運営は本百姓の中の村方三郎(地方三郎)が行っていた。

◆ 農民の負担 ◆



◆ 武士の窮乏 ◆

このころの大名は大小もなくなり、みな藩を下げで商人から資金を借して生活している。農民が返納する年貢はすべて幕府の収入にあてられることになるので、年貢収納のときには年貢を差し押さえられてしまう。年貢を幕府の収入にあてても、まだ足りない。
(大正時代の『福澤』)



幕府の窮乏として
 年貢りをする武士

↓
 幕府の窮乏のころに開墾された津守新田から
 みてみよう。(大正一画) (1880年頃)

▼ 五出 (開墾村)の位置(はりでこまれた) 地図



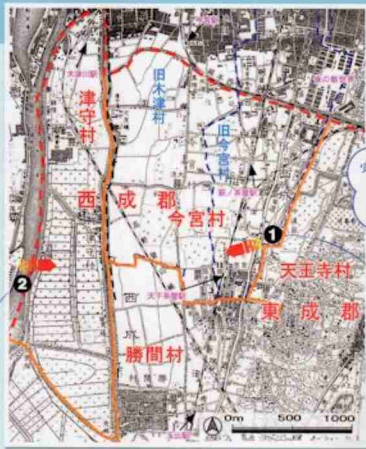
津守新田はこのころ開墾されたんだね。開墾村はまわりを壕でかこわれていたんだね。



▲明治中ごろの様子 2万分の1地形図 (1898年)

私たちの小学校は、明治時代の昔では、どんなところに位置していたのかな？ 田舎が広がっていたようだね？





少しずつ家や工場が
できはじめて
いるんだね。



▲明治末期の様子 2万分の1地形図 (1908年)
-----から上が大阪市内、下がそれぞれの村

①明治時代の
津守新田の様子



②天下茶屋の西に広がる
ロシア人存蔵収容所



天下茶屋駅前に碑があるから
確かめてみよう



▲日露戦争 大阪天下茶屋存蔵収容所歴史顕彰碑



大正14 (1925) 年、
西成区ができました。

◀大阪府大市地図

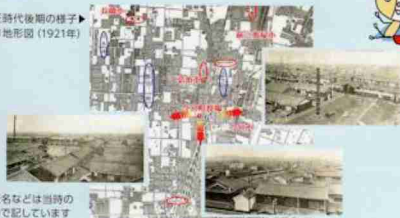
西成区って、
このときに
できたんだね



昔の今宮町役場
からみると、たくさんの
家が建って瓦の海に
なっているね。



大正時代後期の様子▶
1万分の1地形図 (1921年)



※学校名などは当時の
もので記しています



▲大阪市パノラマ地図 (1924年ごろ)

レトロな
メモ

様々な工場ができ、多くの人が住むようになった西成郡(現西成区域)の人口は、明治時代にはほんのわずかだったものがとても増え、十数倍にもなりました。上の地図では煙突がたくさんたっています。

西成郡(現西成区域)
の人口増加
(1898~1925)

- 今宮村→今宮町
- 津守村
- 藤原村→玉出町
- 粉浜村
- 西成区

※1898年の今宮村人口には津守村分も含まれています。



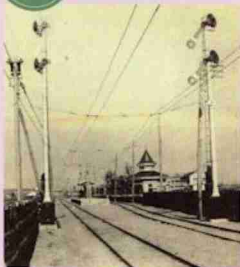
▲大阪府名勝パノラマ地図 (1925年ごろ)

レトロな
メモ

各地から人がやってくるようになり、住吉区とともに、公園や名勝(行楽地)がたくさんつくられています。その一方で、工場がつかられ、煙の都などもよばれました。



▲煙に包まれる木津川沿いの様子。向こう側は大正区 (1938年ごろ)

南海
電車

▲海軍電化されたころの鉄ノ茶屋駅あたり
(1910年ごろ)



▲岸ノ里あたりで交わる高野鉄道と
南海鉄道(1900年ごろ)



▲昔の岸ノ里駅あたり(1925年ごろ)



▲高梁海々線工事中の鉄ノ茶屋駅あたり
(1937年ごろ)

南海電車は
古くからあるんだね。
高架になったのは
昭和になってから
なんだね。



地下鉄



▼御堂筋線の工事の様子▶
(1937年ごろ)

通くの方に

近鉄百貨店が見えるよ。



▲完成してすぐの動物園前駅(1968年)

▼岸里駅の開業(1950年)

大阪市電
南海平野線

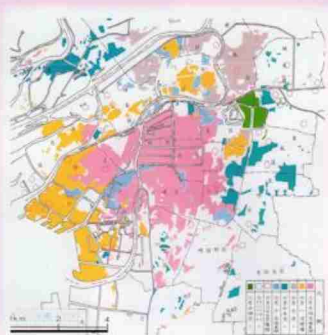
▲津守周辺を
走る市電
(1968年)▶

▼南海電鉄平野線の▶
(飛田)停留所
(1960年ごろ)





何度も空襲に
あつてゐるんだね...



戦争前後の人口比率

- ※ 空襲などでいなくなった人の数
- ※ 戦争のあととも残っていた人の数



大阪市全体



西成区

多くの人が
いなくなったんだね。



◀大阪府戦災損失区域図



メモ

昭和20(1945)年3月の大阪大空襲で、西成区は焼失し、空襲は一晩で、
人びとの生命や生活を、うばってしまいました。

※空中写真はいずれも1948年撮影

あちらこちらに
焼け残った家並みが
みえるけど。



小学校などの
建物は丈夫だったから
焼け残ったんだね。



※いずれも撮影は、1946年5月



西成区の北側は
とくにひどく焼き
尽くされたんだね…



このあたりは
焼け残った家も
あるね。



※小中学校名や駅名などは、写真を見やすくするために、書き込んだものです。

▼明治の中ころ



昔は家だったところが
いまは幅の広い道路や公園になって、
樹木が生い茂っているね。



▼明治の中ころ



天下茶屋

▼住吉名所図会（江戸時代後期）



左の絵は、江戸時代の
様子だよ。人通りも
にぎやかそうだね。



天下茶屋



▲1万分の1地形図（1952年）

天下茶屋駅もすいぶん
かわったんだね。高架にする時は
人家をよけて地上と地下で
工事したんだね。



▲天下茶屋駅北トンネルの完成

地下鉄は、写真の裏の方を
見ると、上下に分かれて
走り進められたんだね。

▲旧の駅舎と
▼大きな車庫（1985年ごろ）▲高架と地下鉄工事中の天下茶屋駅
（1991年ごろ）

▲現在の天下茶屋駅

しょうてん
聖天森



1872
◀ 聖天森 (明治の中ごろ)

▼ 天下茶屋駅から聖天森をのぞむ



地名に「森」がっただけあって、
自然が豊かで茶室もあったんだね。



▼ 茶亭 (明治の中ごろ)



天神ノ森



天神ノ森や
聖天森あたりも
すっかりかわったね。



飛田・太子・今宮



◀ 昔の飛田 (大正時代の初めごろ)

むかしは
田んぼばかりで、
牧場もあってのどか
だったんだね。

今宮小学校の近くにあった
練乳牧場の牛 (1900年ごろ) ▶



◀ 稲の供養のために建てられた稲草
(松之木大御神内)



▲ 住吉名所図会 (江戸時代後期)

1875
聖田という漢字を
使ったんだね。



山王・太子



◀今宮と舞田の名前がある太子地蔵 (1980年ごろ)

▼上野台地の裡にある黒龍大神



このあたりは昔は野原で、マッチ工場なんかもあったよ。



▼たくさんの昔人が住んでいた「てんのじ村」の記念碑



◀外国からたくさんの方がくるので看板もわかりやすく (現在の様子)



▶明治時代にできたマンチ工場跡の記念碑と黒龍大神神社



9

新今宮あたりのうつりかわり

南海・JR
新今宮駅



新今宮駅あたりは、むかしは田んぼや畑ばかりだったんだね。



関西線のもとに大阪環状線が間通したんだね。

1



土手を通る関西鉄道が地上の南海鉄道もまたぐ(明治の中ごろ)

2



新今宮駅はまだない(1964年)

3



新今宮駅を建設中(1965年)

①関西線ガード下(1955年ごろ)



②SLが走る(1959年ごろ)



③環状線も開通(1964年)





▲新しい出城のアパート群(1969年ごろ)

▲建て替え前と
建て替え後の
住宅の姿

▼昔の鶴見橋市場と商店街



▲1924年ごろ

▼1960年ごろ



住宅や市場は
たくさんの人びとの
生活をささえたんだね。



▲花瀬町交差点の様子(1964年)

十三間堀川



▲1912年ごろの十三間堀川

▲千本橋大橋と渡し



▼かつてあった「担橋」の欄干の石柱

木津川



▲明山中心からの千本橋

左側の岸道部分が
十三間堀川に流れ込む
川だったところ

昔の川だったところは
いまはどうなって
いるのかな..



▲上野台の渡しと木津川の船着

紡績・造船
ほか

新田の跡地は、大きな工場が建って、工業がさかんになったんだね。



▲大日本紡績(1920年代)



▼1964年

▲佐野造船

▲津守村(1921年)

水津川やドックに入っている船の数を数えてみよう



▲ナニワ企業団地

さまざまな
産業



▲こつ実産瓜(かぼちゅ)



▲こつまいか(紙)



◀津守にあった「と畜場」(1925年)

名物のカボチャもとれたし、
靴づくりなどもさかんなんだね。



▼靴職人育成の学校「製靴部」

▼ポルト・ナット・靴工場



西成製靴塾



手ぬい縫の作業▶



きみはどれだけ
西成区を知っているかな？



調べてみよう、西成のこと

Q1

昔の西成郡の面積は
今の西成区の何倍くらい？

Q2

地名に「花」や「木」の
名前がついたところは
いくつある？

Q3

戦争でどれくらいの人が
西成区からいなくなった？

Q4

西成区内に鉄道の駅は
いくつある？



Q5

西成区でつくられている
ものにはどんなものがある？

Q6

戦争前に建てら
れた建物などで
今もあるものは？

みんなも
いっしょに
かんがえてね～



未来へのメッセージ



西成PR大使
六代 桂文枝さん

西成PR大使の六代桂文枝です。
内瀬子時代を過ごした西成は、私にとって青春のまちといえます。
西成の歴史は古く、もともと大きなエネルギーを持っているまち
です。これからも一生懸命西成のPRに努めたいと思っていますので、みなさんも応援してください。

未来(あした)のまちをつくるのはみなさんです。

みなさんは、生まれ育った西成のことをどう思っていますか。好きな人もいれば、そうでもない人もいることですが、その歴史をはじめ、まちのことをよく知らない、本当のよさはよくわかりません。

この冊子はこれからの西成を、になっていくみなさんに、もっと西成のことを好きになってもらいたくつくりました。どうぞ手にとってまんでください。そして、みなさん自身がこれから新しい西成をつくってってください。



西成PR大使
十代 山本正博さん

ご協力いただいた方々

本冊子の編集・発行にあたって以下の機関・団体、個人にご協力いただきました。記して感謝いたします。(50音順)

【機関・団体】

・アメリカ国立公文書館 大阪国際平和センター(ピースおおさか) 大阪府建設局 大阪府交通局 大阪府中央卸売市場 大阪市都市整備局 大阪市立中央図書館 大阪市立津守小学校 (株)クラブコスメティックス 神戸市立博物館 国際日本文化研究センター 国土交通院 国立公文書館 国立国会図書館 高石市 (株)ナイス 関西電力鉄道(株) 西成区及西成まちづくり委員会

【個人】

・上田哲也 上地孝子 加藤政洋 工藤洋三 三條雅正博 中島敏 八田行生 札幌良夫 水野阿雅彦 津田和哉